

熊本高専だより

革新する技術、創造する未来～夢へ翔る熊本高専～

2013 Summer

NO. 12

特集

Special Topic

「平成24年度大学間連携共同教育推進事業」 高専・企業・アジア連携による実践的・創造的技術者の養成



CONTENTS

01 卷頭のことば 校長より	02 後援会 会長より	07 新入生より 1年生(春の行事)	15 学生たちから 学生会・寮生会より
02 特集 大学間連携共同教育推進事業 高専・企業・アジア連携による実践的・創造的技術者の養成	10 専攻科・編入生・留学生	17 新任紹介・人事異動など	
11 新入生を迎えて 委員会・共通教育科より	20 諸だより		
13 新年度を迎えて センターより	21 News & Topics		

豊かな時間を未来のために

入学式告示

校長 長谷川 勉

本科入学生の皆さん、編入生の皆

さん、ならびに専攻科入学生の皆さん、入学おめでとうございます。本校に入学されました皆さんのご努力に対して、敬意を表すとともに心から歓迎いたします。

新入生の皆さん、充実した学生生活を送り、優れた技術者として社会へ果立ついくために、心がけていただきたいことをいくつか申し上げます。

社会を変革するような創造的な技術者になるために、まず、しっかりと基礎学力と専門学力を身につけてください。科学技術の基礎となる学問は、過去何世紀にもわたる先人の努力の賜物です。それらは体系化されているので、努力すれば効率よく身につけることができます。教職員一同は全力で指導し、応援します。こうして身につけられたしっかりと基礎があつて初めて、その上に創造的な新技術の花を咲かせることができるのです。若い柔軟な頭脳に限界はありません。知識をどんどん欲に吸収してください。またカリキュラムに組み込まれた豊富な実験や実習は知識を実践的なものとするうえで大いに役立つことでしょう。

教室での勉学だけでなく、高専では寮生活、クラブ活動、学生会活動も大切です。高専でよく読むことを薦めます。高専で

動、ボランティア活動を重視しています。全員、少なくとも1つの活動には参加していただきたいと思いま

す。社会人として必要とされるコミュニケーション能力、リーダーシップやチームワーク力は、これらの活動に積極的に参加し多様な学生とふれあい、切磋琢磨するなかで養われるものです。スポーツは健全な体を作り、維持するうえで大変有益です。困難に挑戦するという貴重な経験を与えてくれるものでもあります。15歳から20歳までのもつとも多感な時期のこれらの体験は、その後の人生を通じてかけがえのないものとなることでしょう。また生涯の友をつくることもできることでしょう。

皆さんには、優れた専門技術者であると同時に、広い視野をあわせ持った魅力ある人間になることを目指していただきたいと思います。幅広く世界に眼を向けてください。情報通信技術の進歩により、あらゆる情報が瞬時に世界中に届く時代になりました。しかし、あふれる情報に流されることなく、その中から本質を見極める力が必要です。そのような力を身につけるために、専門分野外の本を沢山読むこと、そして新聞

は、普通高校に進学した場合と異なり、大学受験のための勉強に時間を持つことはありません。5年間の豊かな時間を持つことができました。自分の将来を考え、目標をもつて、この貴重な時間を管理し、主体的に学んでください。

専攻科入学生の皆さんには、これまでに身につけた基礎学力、専門学力、そして人間力を基盤としてそれらを伸ばしつつ、さらに幅広い勉強、より高度な研究に全力を注いでください。本校の、本科4学年から専攻科修了までの4年間の教育プログラムは世界的レベルの技術者教育プログラムとして、日本技術者教育認定機関、JABEEに認定されています。プログラム修了者には修習技術者という国家資格が与えられます。この2年間は、自らの人生進路の選択もあり、あつという間に過ぎ去る

かもしませんが、修了のときには大きく成長したことを実感できるはずです。熊本高専では、海外留学や海外企業での実務体験をおこなうインターンシップを学生諸君に薦めており、そのためのプログラムが用意されています。日本の企業であっても世界を相手にビジネスをおこなうことは当然のこととなつております。専卒業生が海外で活躍しています。国際経験をもつた若い世代によって、相互理解のもとでの経済的な発展と国際平和が実現されることを期待しています。

本日入学された皆さん、心身ともに健康で充実した高専生活を送り、社会を支える優れた技術者になるという高い志を持つて、大きく成長してくれることを祈念して、校長の挨拶といたします。



校長・後援会 会長より

保護者の皆様に置かれましては、日ごろより奨学後援会に格別のご協力を頂きまして、誠にありがとうございます。定時総会にてご承認いたしました行事計画に基づき、本年度の活動も順調に執り行われております。6月の春季役員会では、お寄せいただいたアンケートによる要望書を学校側に提出いたしました。また、7月には八代キャンパス後援会との懇談会を行い、意見交換を通じてより効率的な後援会の運営を目指していく予定です（6月執筆時点）。

さて、平成21年の八代・電波両高専の統合から早くも4年が過ぎつつあります。この春ご入学の学生の皆様もすっかり高専の空気に馴染み、充実した学生生活を送られているものと思います。奨学後援会も、この統合された環境に応じて予算編成や行事などの内容を見直していく必要



熊本キャンパス奨学後援会 会長 田上 安一

新入生を迎えて

があります。手始めとして、本年度は熊本キャンパス奨学後援会の今後の予算編成のあり方を再検討するワーキンググループを学校側と共にで発足いたしました。喜ばしいことに、年々部活動が活発になり、学術以外の面でも高専生の活躍の場が広がっています。反面、統合による定員の減少で奨学後援会の予算是大幅に縮小しています。部活動に対する財政的な支援も、同じく支援・助成を必要とする他の様々な事項とのバランスを十分検討した上で行う必要があります。公平で効率的な支援の枠組みを作るのは、多くの皆様のご協力が不可欠です。奨学後援会の「援」が、今後も全ての学生の皆さんに公平なものとなるようワーキンググループを役立てて参ります。

また、後援会役員への就任に伴う負担感を憂慮する声があります。保護者や役員の皆様の助力によって運営されている後援会ですので、役員活動や任期・定数が過度な負担となるないよう、本年度をこれらの見直しに取り組む年度としたいと思いま



八代キャンパス後援会 会長 青瀬 伊津子

夢を持ち、繋ぐ人に！

細田氏は「はやぶさプロジェクト」でイオンエンジン開発運用を担当された方です。次のプロジェクトでは、木星探査に向けた仕事をされるということです。夢を熱く語る細田氏の瞳は、遙か遠くの宇宙を見つめてきました。

「夢は逃げない、自分が逃げなければ。」

厳しい受験戦争を乗り越えて、高専生として新たな一步を踏み出した新入生の皆さん、学生生活にはもう慣れましたか。

百分間の授業や実習は大変でしょうが、普通高校にはない高専独自のカリキュラムは、まさしく次世代を担う日本の若き技術リーダーを育成するのにふさわしいものだと思いません。まず一つ目は、自分の目標となる「夢」を見つけてほしいということです。夢を持つ人は強い意志があります。

さて、私から二つのお願いがあります。まず一つ目は、自分の目標となる「夢」を見つけてほしいということです。夢を持つ人は強い意志があります。

二つ目は、「繋ぐ」ことを大切にしてほしいということです。高専では五年間、同じ仲間と共に過ごします。辛い事も喜びも感動も、同じ時間と共に共有し、分かち合つた仲間とは、きっと強いつながりで繋がっていくはずです。卒業生からはよく「高専で出会った仲間は一生の宝」という言葉を聞きます。どうか同級生・先輩・後輩との絆を繋いでいく下さい。それが将来、自分自身のかけがえのない財産となつていくはずです。

講演されたJAXAの細田聰史氏は、次のようなメッセージを言われました。

「一生をかけられる大好きなものは、いつ出会うか誰にもわからないことです。だから、何にでも一生懸命チャレンジして下さい！」

細田氏は「はやぶさプロジェクト」でイオンエンジン開発運用を担当された方です。次のプロジェクトでは、木星探査に向けた仕事をされるということです。夢を熱く語る細田氏の瞳は、遙か遠くの宇宙を見つめてきました。

細田氏は「はやぶさプロジェクト」でイオンエンジン開発運用を担当された方です。次のプロジェクトでは、木星探査に向けた仕事をされるということです。夢を熱く語る細田氏の瞳は、遙か遠くの宇宙を見つめてきました。

「平成24年度大学間連携共同教育推進事業」

高専・企業・アジア連携による 実践的・創造的技術者の養成

(略称)9高専連携事業

鹿児島高専が代表校となり申請された「高専・企業・アジア連携による実践的・創造的技術者の養成」なる事業が、平成二四年度大学間連携共同教育推進事業に採択されました。今回は特集としてこの事業について取り上げます。

高専機構のホームページによると

本事業は、国公私立の設置形態を超えて、地域や分野に応じて大学間が相互に連携し、社会の要請にこたえる共同の教育・質保証システムの構築を行う取組の中から、優れた取り組みを選定し、重点的な財政支援を行ふことにより、教育の質の保証と向上、強みを活かした機能別分化を推進することを目的としています。
(文部科学省ホームページより)

事業期間について教えてください。
事業期間は、平成二四年度から平成二八年まで5年間です。

大学間連携 共同教育推進事業

防災技能を有した技術者教育の構築」が採択されています。

連携校は、九州沖縄地区のすべての高専です。申請校の鹿児島高専を代表校とし、熊本高専も北九州高専と共に基幹校として位置づけられています。また、約九〇〇の会員企業を有する九州経済連合会(ステークホルダー)と連携することにより、インターネット等における事業の推進に取り組みます。

9高専連携事業について



インターンシップを通じた実践的・創造的技術者の育成

海外研修を通じたグローバル技術者の育成

専攻科教育プログラムの見直しを通じた国際交流の推進

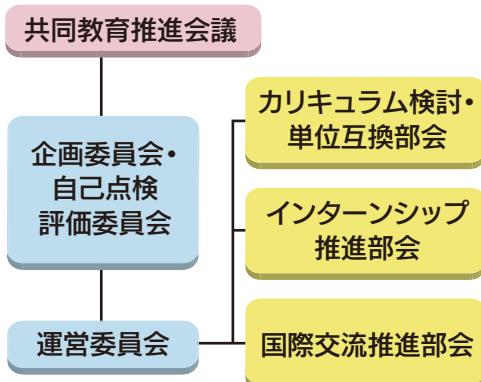
連携校および連携機関について教えてください。

連携校は、九州沖縄地区のすべての高専です。申請校の鹿児島高専を代表校とし、熊本高専も北九州高専と共に基幹校として位置づけられています。また、約九〇〇の会員企業を有する九州経済連合会(ステークホルダー)と連携することにより、インターネット等における事業の推進に取り組みます。

特集

Special Topic

大学間連携共同教育推進事業



これら3つの柱を推進するためには、カリキュラム検討・単位互換部会、インターンシップ推進部会、国際交流推進部会という3つの部会が設置されています。熊本高専からは、下塩義文教員(熊本)、道園達也教員(八代)、島川学教員(熊本)がそれぞれの部門に参加しています。下塩教員はカリキュラム検討・単位互換部会の部会長を、島川教員は国際交流推進部会の副部会長で、2人は運営委員会の委員にもなっています。

事業の3つの柱は、インターンシップを通じた実践的・創造的技術者の育成、海外研修を通じたグローバル技術者の育成国際交流、高専間の単位互換による教育の質向上です。これら3つの柱を推進するためには、カリキュラム検討・単位互換部会、インターンシップ推進部会、国際交流推進部会という3つの部会が設置されています。

事業内容の3つ柱について教えてください。

連携取組の概要について教えてください。

九州沖縄地区の9つの高等専門学校が連携し、インターンシップ、海外研修、留学生の受け入れを推進する取り組みである。

一高専の学生数は1000名程度

であるが、連携によるスケールメリットを発揮し、インターンシップでは、約900の会員企業を有する九州経済連合会(ステークホルダー)と連携する。海外研修では、アジア諸国の高等教育機関との交流実績を活用し、アジア諸国との関係を強化する。ステークホルダーもアジア諸国との関係を強化しており、海外研修や留学生の日本でのインターンシップ等でも協力関係を構築する。専攻科の教育プログラムを見直し、単位互換、長期インターンシップ、長期海外研修を行いやすくすると共に、専攻科への秋入学の体制を整え、海外から研修生、留学生を受け入れやすくする。(略称:9高専連携事業—鹿児島工業高等専門学校 www.kagoshima-ct.ac.jp/post-1.html より引用)

これまでに行つた活動内容について教えて下さい。

平成二十四年一一月二二八日と平成二十五年五月一〇日に九州沖縄地区高専連携共同専門部会(全体会)が鹿児島高専において実施されました。平成二十四年度後期は、テレビ会議システムの導入、国際交流コーディ

ステークホルダー(九州経済連合会)

国内外の企業

国内
インターンシップ

高専学生

本科

専攻科

教員研修・教員相互交流
アジア協定校による英語セミナー

アジアへの研修

アジア諸国連携校・協定校

ネーターの募集・採用、事務局スタッフの募集・採用、会議や委員会・部会の規則や規程類の設定、会議や委員会・部会の委員の任命など実施体制の立ち上げの期間としての活動が主に実施されています。

平成二五年五月一〇日に実施された全体会では、今年度の年度計画についてとこれまでの各部会の活動報告とそれからの課題などが報告されました。

科学技術大学・ポリテクニックや現地の企業を訪問され、事業に関する説明や協力依頼等が行われました。

これから連携校が主体的に行う事業項目について教えてください。

これから連携校が主体的に行う事業項目は、次の7つです。

また、アジア諸国との関係を強化することも今事業の目的の一つであることから、中国、香港、台湾、タイ、インドネシア、マレーシア、シンガポール、モンゴルの大学・工科大学。

平成二十四年一一月二二八日と平成二十五年五月一〇日に九州沖縄地区高専連携共同専門部会(全体会)が鹿児島高専において実施されました。平成二十四年度後期は、テレビ会議システムの導入、国際交流コーディ

○カリキュラム等の検討

○英語コミュニケーション力の向上
○協定校の学生の受け入れ
○協定校の教員の受け入れ
○国内・海外インターンシップの推進

カリキュラム検討・単位互換部会

情報通信工レクトロニクス工学科 下塩 義文



【本事業で達成したい能力】

昨年より開始された9高専連携事業では、大きな目的の一つに海外でのインターンシップの実施があげられています。海外でのインターンシップを実施するにあたり、必要な能力は何かといえば英語力があります。現地の日本人スタッフは多忙な中での受け入れとなり、教員も常時帯同するわけではありませんから、様々な課題を自分で解決することが必要になります。また、海外の学校への学生派遣も計画されていますが、海外の学校に行つても英語の授業を理解できなければ、単位を修得することはできません。また、最近はインターネットを利用して海外の一流の大学の専門の授業を無料で視聴でき、生涯学習の情報を得ることができるようにになります。しかし、英語力の養成は一朝

一夕でできるものではありません。時間がかかります。今回の事業をきっかけに、卒業までの5年間をかけて海外でのコミュニケーションが取れ、また海外の大学の講義が理解できる程度の語学力の養成を大きな目標にしたいと考え、そのために様々な取り組みを開拓していくことを考えています。

【英語力強化の試み】

英語力をつけるには、時間をかける必要があります。

そこで、英語の授業以外でできるだけたくさん英語に触れてもらう機会を作る必要があります。そのため、この4月から始めた熊本キャンパスでの取り組みをご紹介します。

- 英会話放送の実施 4月より朝8時～10時と昼の12時～15時まで校内放送によりNHKラジオの基礎英語I、IIを放送するようにしました。
- 身近に英語がある環境を作り、少しでも関心を持つもらいたいと考えています。



国際交流推進部会

人間情報システム工学科 島川 学

経済のグローバル化が進んでいます。そのため、企業だけでなく大学や高専においてもグローバルに通用する人材（グローバル人材）の育成が必要とされています。

グローバル人材に求められる素養とは何でしょうか？

近年、若い世代の「内向き志向」が指摘されています。しかし、様々な産業分野において国内市場は絶対的な規模縮小の方向にあるため、欧米諸国だけでなく新興国を含めた海外市

場での発展の必要性が高まっています。見学を行い、一日目に3～4時間

程度の英語研修を行います。

学生数名にネーティブの先生1名がつき、ハウステンボス内を利用しての様々な会話を通じ、英語に対するモチベーションの向上を図っています。参加した学生の評判は極めてよく、英語に対する関心を高めることができました。

この他、1年生の専門基礎科目の小テスト・定期試験を一部英語で出題する試みや、4年生の工学実験の時間に地元大学の留学生をTAとして雇用し、実験についてのインタビューを実施することで、できるだけ英語で聞く、話す機会を増やそうという試み

として、部会では、主に専攻科について半年程度の海外インターンシップを実施しても進級に遅れがないような仕組みの検討、海外の教育機関との間での学生の派遣・受け入れに伴う教務的な課題、単位互換の仕組みなどを検討することとしています。

【規則等の検討】

この他、部会では、主に専攻科について半年程度の海外インターンシップを実施しても進級に遅れがないような仕組みの検討、海外の教育機関との間での学生の派遣・受け入れに伴う教務的な課題、単位互換の仕組みなどを検討することとしています。

などを実施しています。1年生からの少しづつの積み上げにより、卒業までには今回の事業の目標であるTOEFL 650点をクリヤができるようになります。参加した学生の評判は極めてよく、英語に対する関心を高めることができます。

学生を育てていきたいと考えています。IC650点をクリヤできるようになります。参加した学生の評判は極めてよく、英語に対する関心を高めることができます。

見学を行い、一日目に3～4時間要素Ⅰ…語学力・コミュニケーション能力

要素Ⅱ…主体性・積極性、チャレ

ンジ精神、協調性・柔軟性、責任感・使命感
要素Ⅲ..異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティ

このほか、幅広い教養と深い専門性、課題発見・解決能力、チームワークとリーダーシップ、公共性・倫理観、メディア・リテラシー等の素養が求められています。

語学力(特に英語)が必要であることは皆さんも承知していると思いまが、それだけでは不十分です。相手の意見を理解し、自分の考えも主張できることも大切です。職場や地域社会の中で多様な人々とともに仕事を



インターンシップ推進部会

共通教育科 道園 達也

活躍し、高い評価を得ています。

高等専門学校では実践的・創造的技術者養成の一環として、従来から企業等のご支援ご協力によって国内インターンシップを推進してきました。主に夏季休業を活用し、4、5年生、および専攻科生の多くが参加しています。

本部会は北九州高専を世話校として九州地区9高専が連携して、インターンシップの推進に取り組みます。高等専門学校は従来から、実践的・創造的技術者の養成に取り組んできました。卒業生は産業界の最前線で

行つていく上で必要となる基礎的な社会人基礎力も必要です。また、文化の違いを「良い」「悪い」で判断するのではなく、文化の違いを受入れ、互いに尊重することも必要なことです。このような背景を踏まえ、9高専連携事業の国際交流推進部会では、海外研修を通じたグローバル技術者の育成という目標を掲げて、九州沖縄地区の高専が連携しています。そして、これまで各高専で行われてきた国際交流に関する取組みに加えて、国立高専機構が国際交流協定を締結しているアジア諸国(高専)教育機関との国際交流の拡充を行っていきます。

平成二十四年度は鹿児島高専(十一月二十八日)と北九州高専(一月十六日)での会議、TV会議システムを用いた打合せ(二月十九日)を行いました。また、年度末にはシンガポール、タイ、香港、インドネシア、台湾、マレーシア、モンゴル、中国、韓国に各校の教員が分担して訪問します(報告会は四月十日、十七日にTV会議システムを用いて実施)。

そのうち本校が担当校を務めたシンガポールと台湾における企業等訪問についてご報告します。

・シンガポール(三月十三日~十六日)

マキノ・アジア(牧野フライス製作所)、福岡銀行駐在員事務所、三井ハイテック、東南アジア新日鐵住金。

・台湾(三月十八日~二十日)

台北市日本工商会、台湾JTB、台湾平田機工。

シンガポール、台湾のいずれにおいても現地で生活し、仕事をしておられる方ならではの有益で、貴重なお話をいただきました。また、本事業の目的である国際交流の推進、海外インターンシップの実施について十分にご理解いただき、様々なアドバイスをいただきました。

今年度は五月十日、鹿児島高専で会合があり、以下の事業内容を確認しました。海外インターンシップテストケースや九州経済連合会会員企業経営者による講演会の実施、海外渡航調査と海外インターンシップ研修先の開拓に取り組む予定です。

長期インターンシップや海外インターンシップの実現には、解決すべき多くの課題があります。高専で学ぶ学生が、今まで以上に自らの可能性を広げられるように尽力したいと考



新入生から



- ✓ 入学式
- ✓ 合宿研修
- ✓ クラスマッチ

熊本高専に入学して

制御情報システム工学科 一年 鍋田 雅輝



平成25年4月、私は熊本高専の一員となりました。

新しい学校生活も始まり、

入学当初はたくさんあつた不安も少しずつ減つてきました。

勉強面で不安がまだあります。しかし、個性的で面白い先生が多く、新しい仲間もでき、部活動もとても充実しているので、楽しい高専生活を送っています。そして、私がとても楽しみにしていた専門の授業も少しずつ始まってきた。電気回路やパソコンの勉強などエンジニアになるために必要な科目などは難しいところもありますが、高専だからこそ学べる貴重なものなので、しっかりと身に付けています。また、先生方の研究紹介を聞いて、

自分がこれから身に付けようとしている技術は社会のあらゆる面で役に立つのだと強く感じました。身の回りの小さな電子機器から宇宙の世界まで私たちの活躍の場があるのだと思うと、これからも高専生活がとても楽しみです。そして将来、社会を支える人々の一員となれるよう精進していきます。

熊本高専に入学して

機械知能システム工学科 一年 中浦 壱成



高専に入学して2カ月が経ちました。もう高専の生活に大分慣れて知り合いも増え、学生生活をenjoyしています。

高専は学ぶ環境が整っており、先輩方も優しく明るい学校です。

寮での生活も当番の仕事のため早起きをしたりなど大変ですが、うまくいっていきます。試験前はみんなで力を教えあつたります。試験前はみんなで力を教えて、互いに勉強していく



そして、僕は帰宅部です。完全にどこの部活にも入るタイミングを失つてしましました。人生というバッターボックスに立つたら見送りの三振だけはダメですね。さて、もう少しで試験です。こんな冗談を言つてはいる暇はありません!! 留年しないように気張らんと。最後に言わせてもらうと、「僕は高専に入学して良かった!!」と思つています。これからも気張つていきたいです。

熊本高専に入学して

機械知能システム工学科 一年 中浦 壱成

す。

僕が高専に来て思ったことは、いろんな場所から来ている人が多いということです。僕も鹿児島出身ですが、それ以上に遠いところからはるばるこの高専に来ている人において、正直、驚きました。方言や言葉の違いに苦しむこともあります

が、それも面白いところです。これから（うまくいけば……）5年間過ごす仲間な

で仲良くやっていきたい

です。そして、僕は帰宅部です。完全にどこの部活にも入るタイミングを失つてしましました。人生というバッターボックスに立つたら見送りの三振だけはダメですね。さて、もう少しで試験です。こんな冗談を言つてはいる暇はありません!! 留年しないように気張らんと。最後に言わせてもらうと、「僕は高専に入学して良かった!!」と思つています。これからも気張つていきたいです。

合宿研修に参加して

人間情報システム工学科 一年 米村 祥裕

合宿研修に参加して

生物化学システム工学科 一年 濱崎 友宏



入学式が終わり新しいキャンパスライフに慣れ始めた頃、合宿研修が行われました。

合宿研修初日の早朝、バスへと乗り込み、新しい友人達と一緒に胸を躍らせながら出発しました。

芦北青少年自然の家に着くと初めに入所式が行われました。それが終わるとようやく各々の部屋に向かいますが、その道中では入学したてとは思えないほど、楽しげな会話が繰り広げられました。

その後は特に急ぎの用事もなかったので部屋でクラスメイトと雑談をしていましたが、もちろん周りに同じ中学校だった人はいませんし、知った顔はありません。

今回の研修が上手いくつたのは、この期待を自分自身のモチベーションにつなげられたからだと思います。

これから高専生活に対しても同様のことが言えます。今不安を抱いている自分がいるということは、期待を抱いている自分がいること。どちらが言えることだ。

研修施設では、細かくルールが決まっています。布団のたたみ方や敷き方など普段はあまり気にしないようなことがルールとして決めてあります。寮生活をしている人は、消灯時間などの時間の決まりには慣れていると思うのですが、布団のたたみ方に苦戦している人もいたよう

ん。しかしこの後の昼食でもお互いに会話を楽しんでいました。知っている人が一人としていないというのは、とても不安です。会って一週間がたつたかという短い期間での合宿研修でした。しかし、そんな不安など感じさせないほど研修は楽しいものでした。

新しい環境というものに對しては、必ずと言つていいほど不安を抱くものです。しかし、環境に対して抱く思いはそれだけではなく、期待といった気持ちも必ず抱くはずです。

合宿研修では、これから5年間過ごしていく中でどんなことが大切になるか知ることができました。まず、研修先の豊野に着いてすぐに雁回山に登りました。想像していたよりもつらく大変でしたが、クラスのみんなとだけでなく、他の科の人とも同じ体験をすること今まで以上に仲良くなれたのではないかと思いました。

研修施設では、細かくルールが決まっています。布団のたたみ方や敷き方など普段はあまり気にしないようなことがルールとして決めてあります。寮生活をしている人は、消灯時間などの時間の決まりには慣れていると思うのですが、布団のたたみ方に苦戦している人もいたよう

です。なぜ、ここまでルールが決まっているのかと考えると、寮でも同じようなことがいました。寮では、布団のたたみ方は決められていませんが、研修施設での細かいルールと同じように寮規則というものがあります。寮は大勢の人が生活する場です。自分の家とは違い、常に他人と共にで暮らさなければなりません。その中でみんなが共同で使うものは個人のものではありません。そのため、他の科の人との間で暮らさなければなりません。その中でみんなが共に使うものは個人のものではありませんので、きれいに使わなければなりません。研修施設ではこの共同のモノが布団だったということです。たみ方までしっかりとときめられていましたのだと思い出しました。ルールを理解するのは簡単ですが、しっかりと守るのは難しいと思いました。

これから5年間、それぞれの目標にむけて生活していく時に、この合宿研修で学んだ集団生活で大切なことを頭に、技術的にも精神的にも、社会にて通用する技術者になれるよう頑張っていきたいです。



クラスマッチに参加して

情報通信エレクトロニクス工学科 一年 照山 恋那

が「本気で当てに来い」という優しい先輩でとても試合は盛り上りました。体育館もグラウンドも盛り上がって、1年生から5年生という人がいて、高専独特だと感じました。

高専は行事も盛り上がるし、人とのかかわりも広がります。学生生活を精一杯楽しんでいこうと思いま



私たちが入学して間もなく、高専生活にもクラスにもまだなじみ切れない時期に開催されたクラスマッチ。そこで私たちは高専独特的雰囲気を感じることができました。

高専は5年制で5つ上の先輩もいます。そのことを改めて感じました。バレー、ボール、ソフトボール、ドッヂボールとも学年に関係なく当ります。私は女子ドッヂボールに出場しましたが、年の離れた先輩とかかわりを持てたこと、交流ができたことはとても嬉しいことでした。先輩にボールを当てることにみんな最初は戸惑っていました



クラスマッチに参加して

建築社会デザイン工学科 一年 静谷 拓実

年対抗リレーで僕は1年生の、紅白歌合戦でいうSM A P的順番、俗にいう大トリをやりました。自分は、100m11秒台で、自分が先輩方に超されないとは思っていましたが、自分にバトンが回ってきたときは、もう大分先に、走つていらして、力の差を感じました。秋季クラスマッチでは、先輩方に近づけるように、やっていきたいです。



自分はこのクラスマッチで、野球、リレー、開会式、閉会式の種目に出場しました。まず、本校グラウンドで、開会式が行われました。先輩方を見ると、皆さん自分がクラスTシャツをきていました。その時、先輩方の仲の良さを感じ、LINEの最高スタンプが押しちゃになりました。そして、準備運動では、全身ピンクのゴムで包まれた方が前に出て、江頭2・50を越えるかのような、パフォーマンスをされ、幕が明け、その時、ヤッパ強豪八代は、凄いなど、思いました。

そして、野球が始まり、自分は、ただ調子にのつていました。対戦した5年生の方々に謝罪したいです。そして、最後の種目、学



専攻科に入学して

電子情報システム工学専攻

田口 景織子



四月に熊本高専専攻科に入学してから、早くも数ヶ月が経ちました。5年間通った校舎にまた同じ通学路から通う日々が続いています。一見本科生の頃と何も変わらないように見えますが、大きく変わったことがいくつあります。専攻科の授業は選択科目が大部分を占め、「与えられる」勉強ではなくなりました。授業内容も難しく、進む速度も速くなっています。

す。しかし空いた時間は以前より多くなったため、時間の使い方がより自由に、多様になつたように感じます。この自由に使える時間を有意義に使うためには、「自ら行動する」ことが何より大事なことだと最近つくづく思うようになりました。専攻科では自ら行動することが当たり前です。ただのモラトリアムにならないよう、時間を上手に使つて勉学や研究に今まで以上に真摯に取り組めれば、と思っています。

専攻科に入学して

生産システム工学専攻 吉永 晴哉



圧倒的な下級生の人数にいつも肩身の狭い思いをする半面、年下の彼女も悪くないなあとと思う今日このごろ。同級生のほとんどが会社に入り一生懸命働いているなか、自分を含む24人はまだ学びたいという思いから専攻科に進み勉学に励んでいます。専攻科に入学して一番の変化は本科の時に比べて授業の数が少ないことです。授業のないとき、遊ぶことに使うの

も悪くはないでしょう。しかしその時間をいかに自分にとって有意義なものとして利用できるかが専攻科にいる期間で自分のスキルをアップさせれるのに繋がるのだと思います。自分はまだまだこの時間を100%有意義に利用することはできていませんが皆さんのがこれを読む頃には一皮むけた自分になつていると感想です。まじめなこと書いて下さいません。

あと「思います」が多くてすいません。

新入生から

熊本高専に入学して

建築社会デザイン工学科 オドウスレン・テグシバヤル



私はモンゴルからの留学生、ティンパヌ建築社会デザイン工学科3年生に入学しました。モンゴルは、発展途上国なので建築のエンジニアが必要です。日本は先進国であり、建築の技術が高いのでこれを学ぶために日本に留学しました。ここで、多くの知識と技術

国へ帰り、モンゴルの発展のために働きたいと思っています。また、日本に留学しているうちに勉強だけではなく、日本の習慣や文化をもつと詳しく学ぼうと思っています。

最初は、八代の生活に慣れることができ大変で、また勉強も難しかったのですが、今はすいぶん慣れました。勉強は本当に面白くて、クラスの皆さんのがいろいろ親切に教えてくれますのでよく分かるようになりました。皆さんのがいつも声をかけてくれ、いろいろなことを優しく教えてもらえることに、心から感謝しています。これからもよろしくお願ひします。

編入学して

建築社会デザイン工学科

坂本 将磨



高専から熊本高専へ編入し、充実した学生生活を送っている。入学当初に主に取り組んだことが二つあります。一つはできる限り早く熊本高専に慣れることで、慣れていないうちは高校時代とのギャップや学習面での差などに悩まされたが、自身が熊本高専に慣れていくにつれ悩みも解消された。二つ目は、部活動についてだが、熊本高専には入りたい部活がなかったので部活を作ることにした。部員集め、顧問探しなど爱好者会を作るためのいくつかの条件を満たし、無事に爱好者会を発足し日々、筋肉の鍛錬に励んでいる。その際の筋トレの方法であつたり、筋肉の知識に関する知識を学んでいます。でも、慣れていないうちは高校時代とのギャップや学習面での差などに悩まされたが、自身が熊本高専に慣れていくにつれ悩みも解消された。二つ目は、部活動についてですが、熊本高専では、文武両道が熊本高専の特徴です。ただのモラトリアムにならないよう、時間を上手に使つて勉学や研究に今まで以上に真摯に取り組めれば、と思っています。

10 2013.SUMMER no.12

新入生を迎えて

新学科第四期生を迎えて

教務主事（八代キャンパス） 渕田 邦彦



短期・長期の海外留学の機会も増えています。いろいろなことに積極的なチャレンジを期待します。

さて新学科第四期の1年生は高専生活にも慣れて各自学習や生活に対応するそれぞれのスタイルができつたところでしょうか。6月には前期中間試験を経験して学習への取組みを改めて自覚した学生もいたのではないかと思います。高専で学ぶためには各自に適した学習方法を見つけて取組むことが重要です。1年次から意欲を持って学習に取り組む体制を整えることが卒業までの高専生活を充実させることにつながります。各自の自覚を期待します。

八代キャンパスでは新学科一期生の数年前から1年生への取り組みとして朝のC.Tでの読書活動を継続しています。この取り組みは昨年度までにしっかりと定着してきており、今年も1年生は8時半には登校して朝の読書に取り組んでいます。よい習慣として継続してほしいと思います。

矢継ぎ早に質問しましたが、どこかでつまづくことなく、みなさんのお子さんがうまく軌道に乗るよう、学校としてサポートしていくので安心してください。

この時期の学校としての関心事は、新入生をうまく軌道に乗せることの他に、5年生の進路を確保することがあります。良い出口を確保すると良い学生が入ってきて良い循環になるのうか。景気の浮き沈みを傍目に見てください。

この時期の学校としての関心事は、新入生をうまく軌道に乗せることの他に、5年生の進路を確保することがあります。良い出口を確保すると良い学生が入ってきて良い循環になるのうか。景気の浮き沈みを傍目に見てください。

平成二十二年4月の新学科第一期生入学による実質スタートから、今年は新学科4回目の1年生となる第四期生253名を迎えました。新学科が第4学年まで進み、既設学科は5年生の一学年だけで、学校全体では新学科体制主体の様相となっています。第一期の4年生はカリキュラムでは専門科目が増えてそれぞれ特徴ある専門分野を中心に行なながら、来年度の進路決定に向けて、インターネットシップや、海外研修・工場見学旅行を経験します。また、高専祭などの学生会活動や課外活動では中心となる多忙な学年となります。第一期生として積極的に取り組んでほしいと思います。

新学科二期・三期の3年生と2年生は高専生活3年目・2年目で高専5年間を通して中だるみになりやすい時期ですが、学習以外に課外活動や興味のある分野の研究や各種コンテスト・各種資格への挑戦など、各自の将来を見据えて高専ならではの取組みが可能な時期もあります。

学生主事（熊本キャンパス） 大石 信弘



ます。進学は無関係と思われるかもしれません、就職が難しくなると進学希望者が多くなるので決して無関係ではないのです。

したがって、アベノミクスの成否は我々の大きな関心事です。ここ5年間の高専人気は、高専卒の就職内定率の高さに裏打ちされました。実は世の中の不景気が原因でコストパ

フォーマンスの高い高専卒の採用企業が増やしたことによります。もしアベノミクスが失敗すればデフレ基調が続き、高専卒の人気は持続すると予想されます。逆にアベノミクスが成功すれば、景気好転により企業の収益が拡大し、高専卒の採用から人件費の高い大卒の採用に切り替えると予想されます。さらに好景気が持続すれば、人手不足となり高専卒の採用数も戻ってくると思われます。

このように、出口は景気に左右されるのですが、果たして、みんなの将来を景気にゆだねてよいのでしょうか。景気の浮き沈みを傍目に見て、悠々自適の就職活動、受験生活をするには、何より、他を凌駕する圧倒的な実力を身に付けることです。人並みではだめです。人任せでは問題外です。どうかこれから5年間で、本校のモットーである自主・自律の精神を身に付けて、世界に羽ばたいてください。

八代キャンパスでは新学科一期生の数年前から1年生への取り組みとして朝のC.Tでの読書活動を継続しています。この取り組みは昨年度までにしっかりと定着してきており、今年も1年生は8時半には登校して朝の読書に取り組んでいます。よい習慣として継続してほしいと思います。

ところで、今年度は専門棟の校舎改修の関係で4年生M.I.科とA.C.科の2クラスが共通教育棟の2教室をH.R.として使用しています。このため4年B.C.科を除いて、新学科の1年から4年までのほぼ全クラスが同じ共

通教育棟の校舎で学ぶ形になっています。1年生・2年生と4年生が同じフロアにいる貴重な機会であり、学年間のよい交流を期待しています。

（景気・不景気）に大きく影響を受け

委員会・共通教育科より

八代キャンパスでは、4月5日に新1年生83名、編入生1名、留学生1名、専攻科生7名が入寮しました。特に、新1年生は学年の3分の2に相当する学生が入寮し、寮生数は総数で339名となり、300名を超える大所帯となりました。本校に通う多くの方々が、寮のメリットを認めて下さり、また、遠方に住む多くの学生が本校で勉学したいということを意味し、私どもとしては大変うれしいことであり、また、ありがたすことだと思つております。

さて、現在は6月中間試験も終了し、ちょうど3か月が経過したところです。終了寮行事を列挙しますと、4月は避難訓練、新入寮生歓迎夕食会、新入寮生歓迎球技大会、寮員の懇談会、ボランティア清掃活動等がございました。新入寮生の皆さんにとってはあつという間の3か月であつたと思います。

4月当初、新入寮生の皆さんには次のようなお話をしました。「寮はひとつの社会です。好むと好まざるとに係わらず、同学年の人たちや、学年の離れた人たちとコミュニケーションをとらないと生活できません。大きなストレスを感じることもあると思います。如何にそれを乗り越えていくか、この経験が貴重な財産となります。」と。

八代キャンパスでは、4月5日に新1年生83名、編入生1名、留学生1名、専攻科生7名が入寮しました。特に、新1年生は学年の3分の2に相当する学生が入寮し、寮生数は総数で339名となり、300名を超える大所帯となりました。本校に通う多くの方々が、寮のメリットを認めて下さり、また、遠方に住む多くの学生が本校で勉学したいといふことを意味し、私どもとしては大変うれしいことであり、また、ありがた

ことだと思つております。

しかし、それぞれ目標を持つて、謙虚に足元から地道な努力を積み重ねて頂きたいと思います。寮生活を通じて多くのものを学び、団体生活を通じて人間的に大いに成長して下さることを心より念願しています。



寮務主事（八代キャンパス）五十川 読



入寮オリエンテーションの様子

新入寮生の皆さんは、ようやく寮生活にも慣れられた頃ではないでしょうか。それでも、慣れない生活故に大変な思いをしたこともあったでしょう。また、ご家庭と違つて団体生活故の不便さや窮屈さも感じられていることでしょう。

4月5日の入学式で新入生をされました。入学式後は土日をはさみ、4月8日の月曜日から学校がスタート。帰省できなかつた寮生は何とも言えない2日間だつたことでしょう。

最初のホームルームで初めて全員の顔がしつかり見え、着なれない制服に緊張の面持ちが隠し切れてしまつたのですが、先輩たちの気迫に飲み込まれてしまいました。悔しそうな本音が出て、学校の一員として実感と自覚が出てきているのだなと感じました。今後の活躍が本当に楽しみです。

5月には、球技大会がありました。今年は1年生も健闘し、決勝トーナメントに進むチームもいつもより多くつたのですが、先輩たちの気迫に飲み込まれてしましました。悔しそうな本音が出て、学校の一員として実感と自覚が出てきているのだなと感じました。今後の活躍が本当に楽しみです。

面式やクラブ紹介でも、期待と戸惑いの入り混じった姿が思い出されます。そんな中、級長が新入生代表の謝辞をしつかりこなすなど、頼もしい一面もありました。

学校が始まってからの10日間は、クラス内の学生同士での会話も少なく、休み時間はどこかよそよそしく過ごす様子があり、夕陽が沈む頃になると「うまくクラスに馴染めるかな?」「寮生活は大丈夫かな?」と保護者と同じような心配をしたものでした。そんな心配もよそに、クラブ見学や豊野宿泊研修、寮生活などを通して少しづつ緊張もほぐれ、教室での会話が弾んできているようでした。何もかもが初めての事で、一つ一つ手探りで近くの学生と相談したり予想しながら行事をこなしていくうちに友達の輪も教室の枠を越えていきました。この時期は「我々大人も見習うべき点が多くあるなあ。」といつも感心させられます。

新入寮生を迎えて

機械知能システム工学科 一年担任 川尾 勇達

新入生を迎えて

新年度を迎えて

新教育用システムの紹介と今年度の活動計画

ICT活用学習支援センター長 米沢 徹也



言語の教育を行っています。図書館や寮でも演習室と同じ環境でパソコンを使うことができるようになったので、学生の皆さんも活用して頂きたいと思います。

次に、今年度の主な活動計画をご紹介します。図書館関係では熊本キャンパスで例年通り読書感想文コンクールを実施します。両キャンパスで

平成24年度末に八代キャンパスの教育用システムを更新しましたので、ここではシステムの概要をご紹介したいと思います。

システムはネットワークブートシステムと呼ばれるもので、クライアントのパソコンのアプリケーションやデータをサーバで二元管理し、実行はクライアントのパソコンにより行うものです。本システムの導入により、システムの更新、保守、運用が容易になり、ユーチューブ上のどのパソコンからでも自分の環境を呼び出すことができるようになりました。主な導入機器はサーバが3台、パソコンは第1演習室から第4演習室にそれぞれ53台、49台、31台、51台、図書館のパソコン室に11台、男子寮に11台、女子寮に6台、合計212台設置しました。

第4演習室には英語教育用としてCALLシステムを導入しています。また、すべてのパソコンにプログラミング教育用としてマイクロソフト社Visual Studio 2012を導入し、C



第1演習室

中学生を対象とした熊本高専サマーセミナーや中学校プログラミングコンテストを開催します。小学校5、6年生を対象としたコンピュータプログラミング体験やシニア世代を対象としたパソコン教室も開きます。ICTセンターへの意見やご要望は事務室まで申し出してください。

今年度のPBL・総合教育センター活動について

PBL・総合教育副センター長 上土井 幸喜



■国際化教育事業部

- (1)国際(異文化)理解特別講義
- (2)短期留学生との交流活動

■キャリア教育推進事業部

- (1)九州地区キャリア教育研修会
- (2)企業等との共同教育によるキャリア教育の手法開発

■科学技術教育支援事業部

(1)子ども工作教室

- ①「わいわい工作・わくわく実験ひろば」(3回実施予定)
- ②「おもしろサイエンス・わくわく実験講座」(熊本C主催)
- ③「わいわい工作・実験フェスティバル」(八代C主催)

(2)中学校連携理科授業(10校)

- ④八代科学発明展での工作教室
- ⑤八代子ども科学フェアー出展
- ⑥科学教育・支援に関するシンポジウム・地域の科学教育・支援を取り巻く状況

- PBL利用教育事業部
- (1)「第6回PBL利用教育に関する講演会」学生の主体的な学びを目指して - Aalborg大学のProblem&Project Based Learningによる-
 - (2)FD研修会：学生の主体的な学びを目指して - 本校教職員に対して実施したアンケートを基に、教育の質を考え教育改善に対する考え方を話し合う。



「わいわい工作・わくわく実験ひろば」
磁性スライムを作つて遊ぶ様子

センターより(活動計画など)

高専力を高めて創成・知財ルネッサンスの年へ

今年度の技術・教育支援センター活動計画等について

地域イノベーションセンター長 清田 公保

技術・教育支援副センター長 繩田 俊則



「ノベーション」は、地域企業が抱える様々な課題に対しても学生がアイデアを提案し、その中から優れたアイデアを出典企業が選出するコンテストです。学生諸君の斬新で柔軟なアイデアと、企業が持つ実践的技術力が互いに交流しあい、次世代の新たな製品化に導くことが産業界からも大きく期待されています。

八代高専と熊本電波高専が高度化・再編を行なつてから、早4年が経とうとしています。この再編を機に、熊本高専では、新しく3つのセンターが設置されました。この中で、地域イノベーションセンターは、高専における高度な技術ポテンシャルを活用して、地域産業界との連携を推進し、地域貢献と新たな「技術革新(イノベーション)」を創発することを使命としています。

本センターでは、これらの早期実現を目指して地元の企業や産業に根差した地域連携活動を推進し、新たな技術の創発と国際的にも活躍できる技術者育成を図るための事業を開展しています。例えば、一昨年度から(社)熊本県工業技術連合会とタイアップして開催している「閃きイ

また、本センターは熊本地区だけではなく、九州・沖縄地区の国立高専の拠点校としての役割も担つており、昨年度末には九州・沖縄地区高専と日本弁理士会が包括的連携協定を締結しました。日本は今、震災や原発事故などの様々な課題を乗り越え、世界の中における新しい技術立国・日本の再生復活をかけたイノベーションが必要とされています。「イノベーションをリードする強い特許の創出と活用」

今年度の活動としては、日々の業務の他に、近隣の小学校等への出前授業や各種科学イベントへの参加等を予定しています。

校外での主な活動として、5月には本校で開催された「おもしろサイエンスわくわく実験講座2013」(PBL・総合教育センター主催)に多くのセンター職員が参加し、各種イベントを担当して来場者に対応します。また、7月には中学校理科部会における理科実験教材ものづくりセミナーへの支援を、8月にはセンター主催の公開講座「作って体験、電子工作・

センサーロボットをつくるよ!」の開催を予定しています。



一方、校内においては、本校1年生による校内ロボットコンテストの開催を12月に予定しています。当コンテストは、それぞれの学科の授業で作成したロボットによる学科対抗形式で実施しており、例年完成度の高い作品や奇抜なアイデアで勝負する作品が参加し、大きな盛り上がりを見せてています。今年度も多くの力作を期待しています。

紙面の都合上、当センターの主な活動のみご紹介しましたが、培った技術と経験をベースに、これからも多くの場面で精力的に活動してまいります。



学生たちから

学生会より 新年度を迎えて

熊本キャンパス学生会長 緒方 拓斗

八代キャンパス学生会長 渡辺 賢人



は持ちきれないほどでした。ぜひ来年はさらに多くの人に参加していただきたいと思います。

前期の主な行事は終わりました
が、後期には電波祭などのイベントが
あります。

これからも学生会を主として多くの
行事を執り行い、みんなの充実し
た学校生活の手助けとなるよう精進
していきたいと思います。共にこの熊
本高専を盛り上げていきましょう！

新年度となりいくつかの学生会活動を行いました。一つ目は4月にあつた対面式です。新入生の中には、紹介の際にステージに上がってパフォーマンスをする学生がいたり、各部活、同好会の趣向を凝らした紹介の映像やアピールで大いに盛り上りました。

また、5月の初めにはスポーツイベントであるグラスマッチを開催しました。初日は前年度に続きあいにくの雨で、屋外競技であるソフトボールはあわや中止になるところでしたが、二日目は天候に恵まれ無事試合を行うことができました。放課後などの空いた時間に練習してきた学生たちの成果が発揮され、各競技ともに白熱した試合となりました。

同月下旬には、地域住民の方々との交流も兼ねた梅ちぎりが行われました。参加した住民の方々と一部の学生達だけでは取りきれないほど梅の実がなつており、帰り際には両手で



こんにちは、私は4年 生物化学システム工学科 渡辺賢人です。役職は学生会会長をしています。私たち学生会は、4月から5月の間に春季文化発表会・対面式、球技大会や学生総会を行つてきました。その中で役員同士の連携や学生との意見交換を十分にし、行事運営を効率的に行うことができました。このように、今年度学生会では今まで以上に役員だけでなく学生の意見を取り入れ、学生が楽しく学校生活を送れるように尽力しています。

また、八代キャンパスと熊本キャンパスは合同企画として、互いのキャンパスを知つてもらい、交流を深めていくために、キャンパス同士の学生会新聞を交換したり、合同球技大会を年に1回担当のキャンパスで行つたりなどしたいと思っています。

最後になりますが、学生会を代表して申し上げます、今年度は今まで最高の学生会と思われるよう一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひします!!

これからのおおまかな行事として、高専大会、高専祭の文化的イベント・体育的イベントがあります。高専大会では開催校の場合、学生会が中心となり会場設営などを行い、できる限り部活動生の練習時間を作つて上げられたらと思っています。次に、高専祭では、学生会と実行委員長である迫君を筆頭に実行委員たちで例年以上に盛り上げていきたいと思います。外部の方たちにも気軽に参加できる企画を用意し、来場者数を今までの倍にしたいと考えていますので、保護者の皆様はどうぞランラン気分で高専祭にいらしてください。

学生会・寮生会より

生活態度に関する指導などを主な活動としてきたが、今年は学年を問わず、寮生全体への呼びかけを積極的に行っている。

6月半ばには今年度最初の定期試験が行われた。下級生は寮図書室で開かれる勉強会に積極的に参加しているようだ。また、上級生も集まって勉強をしたり学生同士で教えあつたりするなど、多くの学生が生活する寮ならではの光景も見られた。今後は定期試験だけでなく普段の学習についても喚起していく予定だ。

4月には毎年恒例の新入生歓迎イベントを行った。今年は例年と趣向を変え、休日を丸一日使って昼はスポーツイベント、夜はバーベキューで1年生や他学年同士との交流を深めた。また、5月には映画の上映会を行って、生全体での交流を重視している。イベント委員会が中心となつて月一回程度の頻度で企画していく予定だ。

生活面では生活指導委員が主体となり、寮生活の質を向上させるべく呼びかけや活動を行つていて。具体的には、洗濯機・乾燥機などの定期的な清掃、ゴミ分別に関する呼びかけなどが挙げられる。特にゴミの分別に関しては、全学年を対象に分別に関する指導会を行つた。合志市はゴミの分別の種類が多く、分別がおろそかになりがちであり、特に3年生以上の上級生にそれが顕著に見られた。例年生活指導委員は寮生、特に1、2年生の



明和寮男子寮長（熊本キャンパス）**松崎 成道**



BBQ 大会

私は昨年度後期から寮長に就任したが、これまで特筆すべきことはしていない。そうしなくても各委員長や寮生自身が考え、動いてくれているからだ。これからも各寮生の積極性に期待したい。（決して何もしたくないわけではない）

歓迎球技大会では、1年生から5年生の縦割りのチーム編成であるため、色々な学年学科の人とコミュニケーションが取れる良い機会となりました。

また、寮内のイベントだけではなく、地域交流と高専のPRを目的とし、津奈木で行われたどろんごバレー

ボーラー大会にも、寮生から、寮役員・5年生を対象とした三チームが参加しました。各チーム、研究テーマや「高専八代」の文字を書いたオリジナルユニークオーナーを作成し試合に挑んだ結果、見事優勝、準優勝を収めることができました。

今後の予定としては、寮長副寮長選挙、寮役員研修会などがあります。

これまで実施してきたことを、今後繋げていけるように、これからも尽力していくたいと思います。

寮生会より

夕葉寮寮長（八代キャンパス）**蓑毛 祐美**

4月から新入生を迎えて、八龍寮・夕葉寮共に益々活気づいてきております。今年度に入り、これまで、新入生行つていている。

4月から新入生を迎えて、八龍寮・夕葉寮共に益々活気づいてきております。今年度に入り、これまで、新入生行つて掃除をし、直接指導するようにしております。

挨拶や掃除はもちろんのこと、集団生活の中で学ぶ礼儀や気配りなども寮外でも出来るような人になつて欲しいと思っていますので、下級生は、先輩として、これから的人生の糧にしていく

4月から新入生を迎えて、八龍寮・夕葉寮共に益々活気づいてきております。今年度に入り、これまで、新入生行つて掃除をし、直接指導するようにしております。



つなぎどろんご祭バレー大会

寮役員の役割は、このようなイベントの企画・運営だけではなく、寮生みんなに快適な寮生活を送つてもらうために、時には指導もしなければなりません。そのため、現在男子寮では、

女子寮では、学年別の指導や週末に監督者を配置するなどを行つており、

新任紹介・人事異動など

熊本高専に赴任して

制御情報システム工学科

加藤 達也



4月、私は、始業式の新任挨拶で「じゃあ、いつ苦労するか？今までよー！」と演説し、先生として華々しい(?)デビューを飾りました。学生には今のうちにできるだけ多くの経験値を稼いでほしいと思ったからです。学生時代は楽な方に逃げてしまいがちですが、難しい事や分からぬ事について、自分なりに考えたり、仲間と議論したりして答えを出せた時の達成感は比べものにならないほど大きな経験値となるのです。先日、私は担当する実験を行いました。なかなかうまくいかず「時間が過ぎているから、それくらいでいいよ。」と言ったにもかかわらず、学生たちは「いや、どうしてもこの波形を出したいんです！」と言つて課題を終わらせて帰りました。さすがは高専生の意地！演説をする必要なんてなかつたのかなと思ひました。私は熊本高専の卒業生ですが、先生として戻つてこられて本当によかつたと思っています。

熊本高専に赴任して

情報通信工レクトロニクス工学科

芳野 裕樹



平成25年度に首都大学東京大学院より赴任しました芳野です。

大学院では人体を通信経路として利用する人体近傍電界通信機器と人体及び人体内植込み医療機器の電磁両立性について研究しており、現在も継続して検討中です。

東京から引っ越してきたばかりでまだ右も左もわからない状態ですが、熊本高等専門学校の温かく活気ある雰囲気に触れ、毎日を楽しく過ごしております。

最近では学生たちが教員室に来てくれるようになり、熊本高専に馴染み始めることができたかなと感じています。

私もこれから教員として、学生たちに工学の楽しさや研究の面白さを伝えていくように頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願ひ致します。

教員交流で反省したこと

人間情報システム工学科

島川 学



人事異動で職場が変われば仕事の内容も変わり、一緒に働く仲間も変わり、それが新しい転機となります。しかし、大学や高専の教員の場合、採用された後は同じ職場で働き続けることがほとんどです。そのような状況を踏まえ、教員の力量を高め、高専全体の教育力の向上を目的として「高専・両技科大間教員交流制度」が実施されています。私は昨年度この教員交流制度により、北九州高専に勤務していました。北九州高専の学生達は全般的に真面目で挨拶がよくできます。色々なイベントが学生によつて運営されていて、学生の自主性を強く感じました。以前にも同じ印象を持ったことがあります。10年前、私が熊本高専に異動したときのことです。熊本高専の学生もすばらしい学生達です。いつの間にか、それを当たり前のように感じ、印象が薄らいでいたのでしょうか。今回の教員交流制度で私が反省したことの一つです。

熊本高専に赴任して

共通教育科 藤山 和久



熊本高専に赴任して

機械知能システム工学科

西 雅俊



熊本高専に赴任して

生物化学システム工学科

一見 能資



よろしくお願ひします

生物化学システム工学科

森田 理日斗



この度、熊本高専八代キャンパス・共通教育科に着任いたしました、藤山和久と申します。私が生まれ育った八代において、教育・研究活動に専心させていただることに大変感謝しております。大学時代に文学・文化研究の奥深さに魅了され、現在はイギリス小説に関する論考をまとめています。小説や詩、演劇などの芸術作品は、私たちに生きる活力を与えてくれます。

高専に赴任してからあつという間に二ヶ月が経ちましたが、私に最も大きな活力を与えているのは、何と言つても、学生の皆さんたちの笑顔です。皆さんはとても素直で元気がよく、いつも明るい挨拶を行い、伸び伸びと学校生活を過ごしているように感じられます。皆さんの夢や目標の実現のために、全力を尽くしてまいりたいと思います。

これまで授業や部活動の顧問を通じて感じた熊本高専学生の印象ですが、自由と自主性を重んじた校風で、学生が明るく活き活きしている様子が感じられます。社会で活躍できる人材を育てられるように学生に分かりやすい授業を心掛けるとともに、研究を通じて若い学生と共に自分自身も成長していくたいと考えています。

授業経験は乏しいので、諸先輩方にご助言を頂き、学生達の言葉に耳を傾けて、私自身も日々学び一人前の教員に成長したいと思つております。

この度、熊本高専八代キャンパス・共通教育科に着任いたしました、藤山和久と申します。私が生まれ育った八代において、教育・研究活動に専心させていただることに大変感謝しております。大学時代に文学・文化研究の奥深さに魅了され、現在はイギリス小説に関する論考をまとめています。小説や詩、演劇などの芸術作品は、私たちに生きる活力を与えてくれます。

高専に赴任してからあつという間に二ヶ月が経ちましたが、私に最も大きな活力を与えているのは、何と言つても、学生の皆さんたちの笑顔です。皆さんはとても素直で元気がよく、いつも明るい挨拶を行い、伸び伸びと学校生活を過ごしているように感じられます。皆さんの夢や目標の実現のために、全力を尽くしてまいりたいと思います。

これまで授業や部活動の顧問を通じて感じた熊本高専学生の印象ですが、自由と自主性を重んじた校風で、学生が明るく活き活きしている様子が感じられます。社会で活躍できる人材を育てられるように学生に分かりやすい授業を心掛けるとともに、研究を通じて若い学生と共に自分自身も成長していくたいと考えています。

授業経験は乏しいので、諸先輩方にご助言を頂き、学生達の言葉に耳を傾けて、私自身も日々学び一人前の教員に成長したいと思つております。

高専は義務教育でもなければ高校でもない面白い学校です。高専でしかできないことを、主体性を持つて発見していきましょう。すべて自分次第です。一緒に頑張っていきましょう。

事務部 転入者等一覧

気軽に学務課窓口まで

学務課長 前田 俊哉

熊本高専に赴任して

総務課課長補佐 川添 光芳



4月より学務課長として着任しました前田です。私は、平成元年に当時の熊本電波高専(現熊本C)に採用され、その後3年間大分高専に勤め、この度熊本に戻ってきました。出身は荒尾市です。

学務課の仕事は、学生諸君を入学時から色々なことでサポートし、学生

生活がより充実したものとなるよう、また、入学した学生全員が社会に羽ばたきだすまで事務サイドから全力で応援します。手続き等で迷つたら気軽に学務課窓口まで来てください。

私の好きな言葉に、「ぶれない信念、ぶれまくる適応力」というフレーズが

あります。どこかの講演で耳にしたものです。ですが、学生の立場に立つて物事を判断するということを信念として業務に当たれば、その他のことはその場面、その時代の中で判断していくことを自分なりに解釈してモットーとしています。

4月から熊本高専八代キャンパスで勤務させていただくことになります。川添と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

プロフィールは、そろそろ健康が気になる今年51歳で、妻1人、子供3人と母親の6人家族です。見た目は、どこの相撲部屋ですか?と聞かれそう



な体形ですので、とりあえず体重10キロ減が目標です。
高専には過去に一度旧八代高専に平成9年4月から3年間勤務していましたので、再び八代で仕事ができることになつて、大変うれしく思つています。

久しぶりに着任したところ、旧八代

高専と旧熊本電波高専は「熊本高専」に高度化再編し、「スーパー高専」にパワーアップしていました。現在、「夢へ翔る熊本高専」として様々な改革を取り組んでおられます。私も微力ながら、熊本高専の発展に貢献できるよう、がんばりたいと思います。

再び熊本高専に赴任して

学生課課長補佐 山田 幹子



4月から熊本キャンパスの学生課に着任いたしました山田です。

り、常に熊本高専を感じてはいたのですが、実際に勤務してみると、八代キャンパスとの高度化再編等、様々な変化にとまどっています。

前回の高専勤務の経験から、教員・

学生・事務職員の間の距離の近さが、

高専の大きな利点だと思っています。

なかでも学生課という学生の皆さんに一番近い部屋にいますので、窓口でお会いすることもあると思います。微力ではありますが、教育支援・学生支援のため頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。

熊本キャンパスに徒歩で通勤できることろに住んでいるということもあります。

【学外からの異動】

氏名	所属・職名	前任地
前田 俊哉	学務課長	大分高専
川添 光芳	総務課課長補佐	熊本大学
山田 幹子	学生課課長補佐	熊本大学
山口 一美	総務課庶務係長	熊本大学
杉山 明	学務課学務係長	熊本大学
田尻 峰郷	学生課学生支援係長	熊本大学
益田 由利	管理課	熊本大学
土肥眞由美	管理課	熊本大学

【キャンパス間異動】

氏名	所属・職名	
高木 真弓	学生課図書係長	八代→熊本
三糸 直子	総務課主任	八代→熊本
卯野木寿夫	管理課	八代→熊本

【新規採用】

氏名	所属・職名	
平野 杏菜	総務課	
福永 恵巳	管理課	
山下 智子	学務課	
大城 悠	技術・教育支援センター	
岩本 舞	技術・教育支援センター	

るところに住んでいるということもあります。

4月から熊本キャンパスの学生課に着任いたしました山田です。

平成6年から8年の3年間、熊本電波工業高等専門学校の頃に勤務していましたので、17年ぶりの高専勤務になります。

熊本キャンパスに徒歩で通勤でき

るところに住んでいるということもあります。

4月から熊本キャンパスの学生課に着任いたしました山田です。

なかでも学生課という学生の皆さんに一番近い部屋にいますので、窓口でお会いすることもあると思います。微力ではありますが、教育支援・学生支援のため頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。

保健室・相談室を

利用しよう



で、いろいろ戸惑いながら任務を遂行しているところであります。さて、学生の皆さん、高専生活はいかがですか。順調にものごとが進んでいる人もいると思いますが、家庭・勉強・就職・部活等のことで悩んでいる人も多いだろうと思います。実は、私は4年前に声が思うように出なくなり、授業をするのが大変つらい状況になつて、家族には随分心配をかけたことがありました。病院に行つても原因がわからず、自分でどうしたらよいか悩みました。そんな中、私の義父から発声障害に関する記事が熊日に出ていたので読むように連絡がありました。早速読んでみると、発声に障害のある人が全国にはたくさんいることや治療方法もいくつかあること

スタッフ紹介

保健室は山下(看護師)と宮崎(学生相談支援員)が、病気や怪我への対応の他、カウンセリングのインターク(予備相談と仲介)を行っています。

また学生相談室は、非常勤カウンセラーとして心理士の亀井美樹先生と医師の脇山秀樹先生に来て頂いています。

他に、村田(生物化学システム工学科)と山下(機械知能システム工学科)、そして時松の3名の教員が相談室を担当しています。

心と体の健康維持のため、保健室と学生相談室を積極的に利用してください。

本キャンパスの保健室業務に携わつてこられた反頭昭子さんが定年退職されました。反頭さんの抜けた穴を埋めるのは容易でないと思いますが、新しい相談室のメンバーで力を合わせて、学生が利用しやすい環境を整えていきたいと思います。

話をもとに戻しますと、高専生活は5～7年でその間に苦労することは大変多いと思います。苦しいときは一人で悩まずに家族や先生、友人に相談しましよう。きっと自分が思っている以上に相談にのってくれるでしょう。学生相談室には専門のカウンセラーの方も定期的に来校しているので利用してほしいと思います。窓口は保健室となっています。

がわかり大変救われた気持ちになりました。幸い、声は少しずつですが回復して、今では何とか大きな声も出るようになりました。ここまで私が回復できたのも家族をはじめ教職員、学生のご理解があったからだと思います。



す。病院や救急車にはもちろん、駅学校、デパート、公共施設など、人が多く集まるところを中心的に設置されています。操

コラム

熊本高専八代キャンパス内の
AFDの設置場所は、4カ所あります。

- ・共通教育科棟一階
ピロティ一側入口
 - ・第1体育館入口
 - ・第2体育館入口
 - ・八龍寮(学生寮)入口

まずは落ち着いて、慌てずに応急手当を行いましょう。

心臓マッサージ

のポイント

- 「強く」：胸が5cm以上沈むまで。押さえる場所は胸の真ん中、しつかり体重をかけて押し下げ、すぐにゆるめます。
 - 「はやく」：1分間に100回以上のテンポ。
 - 「たえまなく」：倒れた人が動き出すか、救急車が来るまで。

助かる命
看護師 山下智子

助かる命 看護師 山下智子

AEDの使い方の注意

※胸や汗などでぬれている場合は

拭き取つてからります。湿布薑など何かはられていたらはがします。

※ベースメーカーなどの皮膚の下に何か埋め込まれている場合はそこを避けてはります。

シ 前の二ヶ月が、いかが小児モードに切りかえます。ない場合は大人と同じパッドを使います。

20 | 2013 SUMMER no 12

「TKUの日2013 in わくわく江津湖フェスタ」に出展しました。

5月11日(土)、12日(日)の2日間、熊本市動植物園で開催された「TKUの日2013 in わくわく江津湖フェスタ」の「若人ランド 高校生文化祭」のブースに科学実験・工作教室を出展しました。



20名の学生が「ダンボールで作った空気砲」、「導電性テープとホッチキスで作る電子オルゴール」、「筒形の飛行体(エッグスジャイロ)作り」を紹介しました。

来場した子どもたちに、科学の不思議や面白さを体験してもらいました。

八代キャンパス第1回留学生交流推進懇談会を開催しました。



平成25年5月17日に八代キャンパスの第1回留学生交流推進懇談会が開催されました。昨年度は残念ながら国費留学生の入学はありませんでしたが、今年はモンゴルから1名の留学生を迎えることができました。

第9回つなぎ・どろんこ祭り「バレーボール大会」に出場しました。

5月26日(日)、津奈木町で開催された第9回つなぎ・どろんこ祭り「バレーボール大会」に八代キャンパスの寮生会を中心に3チームが参加しました。各チーム5名で、五十川寮務主事と、倉本前後援会長も選手として参加されました。大会には鹿児島県を含む20チームが参加し、3ブロックの予選リーグ方式で行なわれ、高専チーム3チームのうち2チームが、決勝トーナメントに勝ちあがりました。若さと知性(?)で、試合を進めるごとに技術を上達させ、なんと決勝戦は高専八代の2

チーム(夕龍、土木建築校学科)の同校対決でした。結局、優勝、準優勝を獲得し、賞状とたくさんの副賞(お米、さらたま、みかん)をいただきました。

どろだらけになりながらも、地域の方との交流ができた有意義な一日でした。



熊本キャンパスにおいて学生会主催の「梅ちぎり」を行いました。

6月1日午前中、熊本キャンパスのテニスコート南側にて、学生会主催の「梅ちぎり」を行いました。黒石団地など地域住民の方約30名にご参加いただきました。

日ごろお世話になっている地域の皆さんと学生会との交流の場となり、楽しい時間を過ごすことができました。

来年は学生会以外の学生の参加や梅の取り方などの改善をし、さらに多くの住民の方と「梅ちぎり」で交流できたらと考えています。



ロボコン部がアイデアお披露目会を開催しました。

5月28日(火)、八代キャンパス龍峰会館1階談話コーナーにおいて、ロボコン部による高専ロボコン2013のアイデアお披露目会が開催されました。今年は「Shall We Jump?」のテーマで、生き物を模したバラエティあふれるロボット達が、高専生と協力して大繩跳びをする競技です。今回も昨年に続き、コントローラーなしで競技を行います。詳しくは、高専ロボコン2013公式ホームページをご覧ください。

**九州沖縄地区大会は、10月6日(日)
八代市総合体育館
で開催されます。**

熊本高専公式HPではNews & Topicsの記事を募集しています。Newsでは、部活動の対外活動や学内の学生行事、学生・教員の取り組みなどを紹介します。また特に郊外での活躍はTopicsとして公式HPのトップページにも掲載されます。公式HPで紹介したい内容がありましたら、ぜひ情報を寄せください。学生・保護者の方は、部活動の内容は顧問教員、各クラスの行事・個人での取り組みなどは担任を通じてお寄せください。News「在学生・保護者の方へ」内でもご覧いただけます。

**News
&
Topics**

募集しています!

News&Topics

生産システム工学専攻2年生が国際学会において優秀賞を受賞しました。

3月27日～29日にかけて沖縄の名護市で開催された国際学会International Symposium on Explosion, Shock wave and High-energy reaction Phenomena (ESHP2013)において、生産システム工学専攻2年生の加茂俊博君がYoung Scientist Awardを受賞しました。

加茂君は本科5年生から細線放電によるコンクリートの破碎における亀裂制御の研究に取り組んでおり、専攻科に入学後も地道に研究を続け、これまでに得た成果を今回の国際学会発表した所、その独創的な取組が評価されて今回の受賞となりました。



受賞発表名

「The Research On Electric Discharge Shock Crush Method Using Thin Wire」

Toshihiro Kamo, Kazuaki Ishimatsu, Takenori Yamamoto, Koichi Murayama and Hirofumi Iyama

弓道部部長 才木龍生君が弓道昇段審査において四段に合格しました。



3月31日(日)に弓道昇段審査(熊本審査)が開催され、熊本キャンパス弓道部部長の才木龍生君(現 情報通信工学科5年)が四段審査に挑戦し、見事合格しました。

熊本キャンパス弓道部では、外部コーチの徳山順也先生(鍊士5段)に週1回指導を頂いております。学生達も春休みを利用して審査に向けた練習に励み、多くの学生が昇段することができました。高専生が弓道四段に昇段することは稀であり、今後の弓道部の活躍が期待されます。

本校学生が「CGエンジニア検定エキスパート 文部科学大臣奨励賞 個人賞」を受賞しました。

公益財団法人画像情報教育振興協会(CG-ARTS協会)が実施した2012年度前期「CGエンジニア検定エキスパート」において、現情報通信工学科5年の酒井康裕君が優秀な成績を収め、「文部科学大臣奨励賞 個人賞」を受賞しました。この賞は、前期・後期検定試験のエキスパート、ベーシックで成績の極めて優秀であった者を協会が文部科学大臣に推薦し、大臣より奨励のための賞状が贈られるものです。これから益々の活躍を期待しています。



熊本県小野副知事が来校されました。



4月24日(水)の午後、熊本県の小野副知事をはじめ、熊本県企画振興部等より8名の方々が本校八代キャンパスを訪問され、本校関係者と、熊本県が推進している熊本県南地域活性化のためのフードバレー構想についての意見交換を行いました。その後、食品加工に関する本校プロジェクトの説明や様々な施設見学も行われました。今後、県南地域が一体となって構想実現に取り組むことが期待されており、本校でも地域イノベーションセンターが窓口となって様々な協力を行う予定です。

第38回熊本地区高専サッカー大会にて優勝しました。

平成25年5月12日(日)に、有明高専を会場として第38回熊本地区高専サッカー大会が開催され、八代キャンパスが優勝しました。熊本地区高専サッカー大会は、有明高専、熊本キャンパス、八代キャンパスの三チームによってリーグ戦をおこない優勝を目指す大会で、八代キャンパスは昨年度に続き、2年連続の優勝となりました。



行事予定

Event Calendar

8月 ▶ 12月

熊本キャンパス

8 August
月

7/30(火)～8/5(月)	前期期末試験
10(土)	夏季オープンキャンパス
13(火)～9/23(月)	夏季休業
16(金)～9/1(日)	全国高専体育大会(東北地区)
22(木)～23(金)	九州沖縄地区高専英語弁論大会(北九州)

9 September
月

24(火)	後期授業開始
-------	--------

10 October
月

1(火)～7(月)	学位授与申請(専攻科)
6(日)	高専ロボコン九州沖縄地区大会(八代)
12(土)～13(日)	全国高専プログラミングコンテスト(旭川)
16(水)	学校説明会(中学校・塾向け)
24(木)	保護者懇談会, 寄生保護者懇談会
26(土)～27(日)	電波祭(学生会行事)

11 November
月

9(土)	電子制御系高専フォーラム
9(土)～12(火)	九州沖縄地区高専大会(ラグビー)
20(水)～22(金)	国際会議ISTS2013(香港)
24(日)	高専ロボコン2013 全国大会(国技館)
26(火)～12/2(月)	後期中間試験

12 December
月

2(月)	企業説明会
7(土)	冬季オープンキャンパス
9(月)	インターンシップ成果報告会(予定)
10(火)	県下一斉試験
24(火)～1/5(日)	冬季休業

八代キャンパス

8 August
月

1(木)～7(水)	前期期末試験
11(日)	オープンキャンパス
13(火)～9/29(日)	夏季休業
16(金)～9/1(日)	全国高専体育大会(東北地区)
22(木)～23(金)	九州沖縄地区高専英語弁論大会(北九州)

9 September
月

6(金)～8(日)	保護者懇談会
30(月)	後期授業開始

10 October
月

1(火)～7(月)	学位授与申請(専攻科)
6(日)	高専ロボコン九州沖縄地区大会(八代)
12(土)～13(日)	全国高専プログラミングコンテスト(旭川)
18(金)	学校説明会(中学校・塾向け)

11 November
月

1(金)～4(月)	高専祭(学生会行事)
2(土)	寄生保護者懇談会
8(金)～10(日)	デザコン2013(鳥取県米子市)
9(土)～12(火)	九州沖縄地区高専大会(ラグビー)
16(土)	わいわい工作わいわい実験フェスティバル
20(水)～22(金)	国際会議ISTS2013(香港)
24(日)	高専ロボコン2013 全国大会(国技館)
27(水)～12/3(火)	後期中間試験

12 December
月

24(火)～1/5(日)	冬季休業
--------------	------

編集後記

今年度号も右綴りを引き継いで編集いたします。

両キャンパスとも担当者が交替し、手探り状態で進めておりますので、今年度は昨年度とあまり代わり映えしないかも知れませんがお許しください。

できるだけ、熊本高専の今をお伝えできればと考えております。



革新する技術、創造する未来～夢へ翔る熊本高専～

熊本高等専門学校

独立行政法人 国立高等専門学校機構 熊本高等専門学校

熊本キャンパス

〒861-1102 熊本県合志市須屋 2659-2 TEL 096-242-2121

八代キャンパス

〒866-8501 熊本県八代市平山新町 2627 TEL 0965-53-1211